

時空を超えた御縁の不思議（島根県特派巡回の中で）

加茂法話会 令和五年十一月二十四日

一、しやかむにぶつ 釈迦牟尼佛がおさとりを開かれた時のお示し。

われ だいちうじょう じょうじょう 『我と大地有情と同時成道す』 しょうぼうげんぞう えいへいこうろく だんこうろく 『正法眼蔵』『永平廣録』『傳光録』より

二、**【十一月二日に写真を送って、二十一日に頂いた前原芳江さんからの礼状】**
前略 先日は写真をありがとうございました。

伯母様は九十才を越えられるとのことでしたが、元気そうですね。
前田屋を覚えていて下さったこと、とても嬉しく思いました。

そして、六十年も前とこうして繋がったこと、もう誰も知る人はいないだろうと思
っていた時、中川の新ちゃんが知っていて少しでもあの頃の事が分かって良かった
ですね。

昔、母の話題の中に伊比さんの御名前がよく出ていたのを覚えています。きっと仲
良くして頂いていたのだと思えます。有難うございました。

中略

伯母様にもお元気で長生きをしてもらって下さい。かしこ

* 手紙書くのが苦手でお礼が遅くなり申し訳ありません。

三、
お互いは全部、赤の他人の寄り集まりではなく、一つの佛(佛宝)の現われとして、
千差万別の姿をもちながら(法宝)、どうしようもなくつながっている(僧宝)。そし
てお互い助け合いながら、大きな命を支えている。

盛永宗興老大師



中央・中川さん、右・前原さん



前田屋商店を訪ねて10月20日



伊比伯母さんを訪ねて11月1日

東龍寺住職 渡邊宣昭 合掌